

2級 実技(論述)試験 解答用紙

No. 001	Aグループ	年月日	令和5年11月20日(月)
---------	-------	-----	---------------

「逐語記録」を読み、以下の問いに答えなさい。

問1 相談者がこの面談で相談したい「問題」は何かを記述せよ。(20点)

CLはスーパーに勤務し41年目だが、もうすぐ定年を迎えるにあたり継続雇用を選んで65歳まで働くか別の会社で働くか別の会社で働くか悩んでいる。これまでやってきた仕事には自負があり、会社にも貢献してきたと思っていたので、継続雇用を受けたかったが先輩方を見ていると居心地が悪そうでやるせない。安い給料で今の部下に使われるくらいなら思い切って別の道を選んだ方がいいのではと思う。人手不足だしこれまでの経験をかってくれるところはあるのではないか。次男も大学までは出してやりたいし、妻も経済面を心配しているので転職して良い給料がもらえる会社で働けたらと思い悩んでいる点。

問2 キャリアコンサルタントとしてあなたが考える、相談者の「問題」は何かを記述せよ。(20点)

CLは継続雇用を受けたいと思っていたが、定時後の仕事内容や賃金等の労働条件について詳細を確認しておらず、仕事理解不足と役割理解不足が見受けられ、継続雇用後の賃金について確認していない点。また、継続雇用の先輩方を見て自分もそうになってしまうのかと思いつている可能性がある。転職についても、「今は人手不足だっていうし」「これまでの経験をかってくれるところはあるんじゃないのか」との発言により、自己理解不足とシニアの労働市場の情報収集不足があると思われる。経済面についても具体的な計算をしておらず、次男の進学費用を含めた今後のマネープランの確認不足が推察される点。

問題3 あなたは、上記2つの「問題」を合わせ、相談者を援助するために、①どこに目標をおいて、②どういうことを実施したいか。目標と具体的な方策を記述せよ。(60点)

- ①(目標) (1) CLの自己理解と仕事理解、定年後の継続雇用での役割理解を深め、情報収集についてサポートしながら、継続雇用を選ぶのか転職か主体的・自律的に意思決定出来る事を目指す。(2) 今後のライフプランを見据えたキャリアプランを明確にし、CLが今の会社での転職先でも前向きに定年後の仕事に取り組めることを目標とする。
- ②(方策) 定年後の働き方について悩み、ご来談いただいたCLの気持ちに寄り添い、傾聴を続けることにより形成されたラボールの維持に努める。そのうえで実施する方策は次の8つである。(1) 継続雇用を受けた場合の仕事内容や役割、給与等の条件面について会社の担当者に確認を促す。(2) 継続雇用の先輩方から話を聞くよう提案をし、情報収集していただく。(3) 仕事のやりがいなどを話していただきながらマイ・ジョブカードを用いて、スキルと経験の棚卸しを行い、自己理解を促す。(4) 転職する場合の労働市場についてハローワークインターネットサービスを活用して情報提供を行い、職業理解を促進する。(5) CLが希望すれば、応募書類の書き方や転職サイトへの登録の支援を行う。(6) jobtagを紹介し、職業情報・職務内容・入職経験等の探索を共に行い、仕事理解を促す。(7) 必要に応じて、奨学金制度についての情報提供やファイナンシャルプランナーにリファーする。(8) CLの家庭の経済面について家族と方策を実行することにより、CLが定年後にどのように働いていくのか自身の基準を持ち納得して意思決定し、前向きにいきいきと働いていけるよう支援していく。

注：解答は質問ごとに、枠内に記述してください。裏面および枠外に記述されたものは採点されません。
2級実技(論述) 解答用紙 1.1

2級 実技(論述)試験 解答用紙

No. 001	Bグループ	年月日	令和5年11月20日(月)
---------	-------	-----	---------------

「逐語記録」を読み、以下の問いに答えなさい。

問1 相談者がこの面談で相談したい「問題」は何かを記述せよ。(20点)

もうすぐ定年を迎えにあたり、今後の働き方を考えた。継続雇用制度を定年65歳まで働くことができるとはいいが、別の会社で働くこと考えた方がいいか悩んでいる。仕事には自信があり、会社へ貢献してきたと思っており、継続雇用を受けたいと思っていたが、先輩方を見ていると層いよが震えうて、自分もそうなるんじゃないかと悩むとやませない。会社に残っても同じ仕事をすることになるのだから、家賃給料が今の条件下に抑えられれば別に働く必要はないと考える。次男の進学費用と考えると、転職して良い給料が貰える会社で働けたらと思う。

問2 キャリアコンサルタントとしてあなたが考える、相談者の「問題」は何かを記述せよ。(20点)

継続雇用後の働き方について、「層いよが震えう」と「給料が新入生並みにならぬ」と、CL自身も直接確認しておらず、他者からの伝聞や推測であることから、事実の確認不足や先輩や人事とのコミュニケーションの不足が感じられる。また「今は人手不足だ」といふことや「経験を買ってくれ」といふ言葉からは、現在の労働市場やシニアの求職状況についての理解不足も見受けられる。次男の進学費用についても具体的に計算してみただけではなく、家計のマネープランが立てられておらず、継続雇用後の賃金についても未確認である。

問3 あなたは、上記2つの「問題」を合わせ、相談者を援助するために、①どこに目標をおいて、②どういうことを実施したいか。目標と具体的な方策を記述せよ。(60点)

① (目標) 仕事には自信があり、会社へ貢献してきたと思っているCLが、定年後の働き方において、自律的・主体的に考え、働き方を選ぶ基準や価値感に基づいて自ら意思決定できるようにすること。また、意思決定するにあたり、必要な情報収集や行動が自ら行えるようになり、前向きに定年後の人生を先んじて行けること。

② (方策) 定年後の働き方について悩み相談にいらしたCLの気持ちに寄り添い、信頼を続けようとして、ラポールの形成や維持に努める。その上で、実施する方策は以上の5つである。(1)継続雇用後の働き方について、仕事の内容や年収、賃金などの諸条件の確認を提案する。既に継続雇用で働いている先輩から直接話を聞いたり、人事に確認するよう促す。(2)現在の労働市場やシニアの求職状況について、職業紹介情報などの資料を使いながら情報提供する。CLが希望すれば、応募書類の書き方や転職サイトの登録の支援を行う。(3)次男の進学について、家族で話し時間を作って頂き、まずは次男の希望を確認するよう促す。その希望により、必要な学費について大まかに予算を立て、妻とも相談しながら家計のやりくりを想定して頂き、給料収入や貯蓄額、いけばいいか判断を抑える。必要であれば奨学金制度について、HPなどの資料や申し込みについて情報提供する。(4)必要に応じてFPハリアーする。(5)4年間の職務の振り返りし、自らの再確認。

注：解答は質問ごとに、枠内に記述してください。裏面および枠外に記述されたものには採点されません。 2級実技(論述) 解答用紙 1.1

2級 実技(論述)試験 解答用紙

No. 001	Cグループ	年月日	令和5年11月20日(月)
---------	-------	-----	---------------

「逐語記録」を読み、以下の問いに答えなさい。

問1 相談者がこの面談で相談したい「問題」は何かを記述せよ。(20点)

CLはスーパーに勤め終え41年のため、継続雇用を選んで65歳まで働くか別の会社で働くか悩んでいる。これまでしてきた仕事には自負があり会社にも貢献してきたと思っていたので継続雇用を受けたが、先輩方を見ていると居心地が悪くやせない。安い給料で部下に使われるくらいなら、思いきって別の道を選んだ方がいいのではと思う。人手不足でこれまでの経馬金をかってくれるところはあるのではないかと。次男も大学までは出してやりたい。妻も経済面を心配しているので転職して良い給料を貰える会社で働いたらと思う悩んでいる事が問題である。

問2 キャリアコンサルタントとしてあなたが考える、相談者の「問題」は何かを記述せよ。(20点)

CLは継続雇用を受けたかと思っていたが、定年後に自分がどんな仕事をするかわからず、給料も年収水準並みになるらいくの発言より仕事理解不足と役割理解不足が見受けられる。継続雇用の先輩方を見て自分もそうなりたいかと思込んでいる可能性もある。転職先についてもスーパーの仕事は知らない、一通りの仕事はやってきた、これまでの経馬金をかくれる所はあるかとの発言より自己理解不足と転職市場の情報収集不足があると思われる。経済面についても具体的な計算をしておらず、今後のマネープランの確認不足が推察される事が問題である。

問3 あなたは、上記2つの「問題」を合わせ、相談者を援助するために、①どこに目標を置いて、

②どういうことを実施したいか。目標と具体的な方策を記述せよ。(60点)

- ①(目標) (1) CLの自己理解と、仕事理解、定年後の継続雇用での役割理解を深め、情報収集についてサポートしながら、継続雇用を選ぶか転職か主体的に意志決定出来る事を目指す。(2) 今後のライフプランを見据えたキャリアプランを明確にし、CLが今の会社でも転職先でも前向きに仕事に取り組みする事を目標とする。
- ②(方策) (1) 長年におたり会社に貢献してきたというCLを褒め、やせない気持ちや丁寧な傾聴しながら、ラポール形成を維持する。(2) 継続雇用を受けた場合の仕事内容や役割、給与等の条件面について会社の担当者へ確認を促す。(3) 継続雇用の先輩方から話を聞き提案をし、情報収集を促す。(4) 仕事のやりがいなどを話し、丁寧にジョブカードを用いてスキルと経馬金の相関性を行い自己理解を促す。(5) 転職する場合の労働市場についてハローワークやネットサービスを活用し情報提供を行い理解を促す。(6) job tagを紹介し職業情報、職務内容、入職経路等の探索を共にし、仕事理解を促す。(7) CLの家庭の経済面について家族と話をし、現状より提案し、現在の状況や今後のマネープランについて確認、検討を促す。以上7つの方策を実行することにより、CLが定年後にどのように働いていくか自身の基準を持ち、納得し、意欲決定し、前向きにいきいきと働いていけるよう継続的に支援していく。

注：解答は質問ごとに、枠内に記述してください。裏面および枠外に記述されたものは採点されません。

2級 実技(論述)試験 解答用紙

No. 002	Aグループ	年月日	令和5年10月17日(火)
---------	-------	-----	---------------

「逐語記録」を読み、以下の問いに答えなさい。

問1 相談者がこの面談で相談したい「問題」は何かを記述せよ。(20点)

もうすぐ定年退職を迎えるにあたり、定年後の働き方について考えた。継続雇用制度を遠く65歳まで働くこともできるが、別の会社で働くことも考え出している。今の仕事には自負があり、会社に貢献してきたと思っており継続雇用を受けたいと思っていたが、継続雇用で働いている先輩を見て居心地が悪く、自分もどうなるかと思う。給与が新入社員並みに安くなると聞き、次男の進学もあるので、これからは安い給料で今の部下に使われるなら、良い給料のところで転職することを考え出している。

問2 キャリアコンサルタントとしてあなたが考える、相談者の「問題」は何かを記述せよ。(20点)

問題は以下の3つを考える。(1)継続雇用制度の諸条件について、「65歳まで働くことができない」とか「給与が新入社員並みに安すぎる」となどの発言から、他者からの評価や働き方であり、CL自身で詳細を確認していない。(2)「今の仕事に不満がある」「良い給料が貰える会社で働きたい」となどの発言から現在の常勤市場に関する知識や情報が不足していると感じられる。(3)次男の進学についての必要経費用について、具体的に計算しておらず、妻とも十分に話し合っていないと思われる。

問3 あなたは、上記2つの「問題」を合わせ、相談者を援助するために、①どこに目標をおいて、②どういうことを実施したいか。目標と具体的な方策を記述せよ。(60点)

①(目標) 定年退職後の働き方について、今ある選択肢(継続雇用・転職)について、必要は情報を正しく収集できようにならねこと。その上で、今までやってきた仕事についての自負や会社への貢献性について、CL自身で振り返り、自身の価値感に基づき、自律的・主体的に良い選択が出来るようにならねこと。

②(方策) まずは、定年後の働き方について悩み、相談に来た下でCLの気持ちに寄り添ったサポート形成に努める。その上で、以下の方策を実施する。(1)継続雇用制度での働き方について、正しい情報を得よう、人事の諸条件確認を促す。(賃金、仕事内容、配属など)また現在、継続雇用で働いている先輩から直接話しを聞くこともあわせて提案する。(2)現在のシニアの労働市場について、職業紹介情報などの資料を使いながら全体の傾向を情報提供する。あわせて、CL自身もハローワークインターネットサービスなどを利用し、希望する賃金や勤務地などの条件をつけて求人情報の検索を勧奨する。(3)次男の進学について、家族で話し合う機会について触れ、必要な学費、既に準備している蓄え、奨学金制度などをあわせて考え、必要はマネープランを立ててみてはどうかCLの意向を確認する。必要に応じて、奨学金の申請についての情報提供や、相談できずFPにリファアする。

注：解答は質問ごとに、枠内に記述してください。裏面および枠外に記述されたものは採点されません。2級実技(論述)解答用紙 1.1